

第6学年 組 国語科学習指導案

指導者 福岡市立 小学校

1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう 「平和のとりでを築く」

2 指導観

○ 本学級の児童の実態

○ 本教材の価値

本教材は、筆者、大牟田稔が広島原爆ドームがたどった歴史と世界遺産になるまでの道のりを通して平和の大切さを伝えている説明的な文章である。本文は13の形式段落からなり、大きく4つの意味段落（Ⅰ原爆ドームに対する語り手「わたし」の思い Ⅱ原爆ドームがたどった歴史 Ⅲ世界遺産への道のり Ⅳまとめ）に分けられる。題名「平和のとりでを築く」の「とりで」は戦争のために築かれる要塞であり、題名の中に、あえて戦争用語を使っていることから問題意識も生み出しやすくなっている。また、文末表現も過去と現在、意見と事実というように巧みに書き分けられており、筆者の書き方の工夫にも着目させることができる。さらに「原爆ドーム」の呼称を時代背景と筆者の思いから変化させていたり、人々の平和への思いの広がり、深まりを強調するために「一少女ー広島市民ー全国の人々ー世界の人々」という構成を工夫したりしている。題名「平和のとりでを築く」は形式段落の13だけに出てきており、筆者の主張が13段落に詰まっていることもとらえやすい。13段落の「原爆ドームは、それを見る人の心に平和のとりでを築くための世界の遺産なのだ。」と言い切っている表現には、筆者の思いや願いが強く詰まっている。この教材を通して筆者の考えを受け止め、自分の平和についての考えと比べることは意義深い。自分の考えを伝えるためには、書き表し方にも論理性が求められる。効果的な筋道だった書き表し方も考えることができる価値ある教材である。

○ 自分の考えと根拠をもたせる言語活動の手だて

(1) 比較の必要感をもたせる単元全体や1単位時間の課題を設定する。

〔単元全体の課題〕

・「平和のとりでを築く」で筆者は何を伝えたいのだろう。筆者の考えと自分の平和についての考えを比べ、自分の考えを発信しよう。

〔1単位時間の課題〕

・「平和のとりでを築く」を通してつかんだ要旨をもとに「広島市 平成22年度 平和への誓い」を読み、平和についての考えを読み比べよう。

(2) 1単位時間の中に「書く活動1, 2」と「説明する活動」を位置付け、比較を通した問題解決的な活動を仕組む。

(ア) 「書く活動1」の手だて

- ① 共通点や相違点に気付きやすい学習プリントの形式の工夫
- ② 共通点や相違点を明確にする文型の提示

(イ) 「説明する活動」の手だて

- ① 共通点や相違点を明確にする文型の提示
- ② 共通点や相違点を明確にする板書の工夫

(ウ) 「書く活動2」の手だて

- ① 比べた事柄、言葉、文章を使って書きまとめさせる工夫
- ② 共通点や相違点を明確にする文型の提示

3 単元目標

○ 筆者が伝えたいことを読み取り、筆者と自分の考えを比べることができる。

○ 言葉の変化や文末表現、文章構成の工夫を読む読み方を身に付けることができる。

○ 事実と考え・意見を区別して書く書き方を習得し、学んだことを活用して平和に対する自分の考えを書きまとめることができる。

		<p>(4) まとめの段落に着目しながら読みのめあてに対する答えを書きまとめ、ラスの考えを方 付ける。(4 / 1 3)</p>	<p>○ 文末表現の変化に着目させ、読みのめあてに対する答えを書きまとめさせる。</p>
		<p>[読みのめあての答えの方]</p> <p>人々は、過去、現在、 にわたり原爆ドームを見ることによって、自分の心の中に、戦争への りや しみ、 の さという感 を生み出すことができる。原爆ドームは人々の心に平和と の さを生み出してくれる世界の人々にとって価値あるものである。</p>	
学 習 計	5	<p>3 学習計 をたてる。</p> <p>(1) 見を確かめるための手 かりについて し う。</p> <p>(2) 読み確かめの視点を 理し、学習計 を立てる。</p>	<p>○ 筆者の考えが強く表れている文を んだり、原爆ドームの呼び方の変化に着目させたりする。</p> <p>○ 読みのめあてとそれに対する答えを読み確かめていく必要感を持たせ、何をどのように読み確かめていくか見通しをもたせる。</p>
		<p>[学習計]</p> <p>①「戦争は人の心の中で生まれるものであるから」と、どうしてそういえるのか。</p> <p>②「それを見る人の心に平和のとりでを築く」とは、どういうことなのか。</p> <p>③「世界の遺産なのだ。」とは、筆者の原爆ドームに対するどのような考えを表しているのか。</p>	
読 み 確 か め	6	<p>4 学習計 をもとに読み確かめる。</p> <p>学習計 で生み出された視点①②③を読み確かめよう。</p> <p>(1) 読み確かめの視点①「戦争は人の心の中で生まれるものであるから」と、どうしてそういえるのか自分の考えを書きまとめる。(6 / 1 3)</p> <p>(2) 今までの平和学習、 の歴史学習をもとに①について し う。(6 / 1 3)</p> <p>(3) 読み確かめの視点②「それを見る人」とは、どんな人のことなのか自分の考えを書き、全体で 流す。(6 / 1 3)</p> <p>(4) 読み確かめの視点②「それを見る人の心に平和のとりでを築く」とは、どういうことなのか、自分の考えをイメージで表し、その意味について全体で 流す。(/ 1 3)</p> <p>(5) 読み確かめの視点③「世界の遺産なのだ。」とは、筆者の原爆ドームに対するどのような考えを表しているのか、自分の考えを書き、全体で 流す。(/ 1 3)</p> <p>(6) 本時学習で深まった読みを書きま</p>	<p>○ 今までの戦争についての学習を や をもとに想起させる。</p> <p>○ 「過去・現在・ 」という時間 や「広島の人・日本の人・世界の人」という空間の広がりをとらえさせるようにする。</p> <p>○ 人間のどのような心が戦争を起こしているのか ードを使って に書き表していく。</p> <p>○ 筆者の思いが一 強く表れる題名にあえて戦争の用語を使っていることに 間をもたせ、別の言葉と比べてその意味について考えさせる。</p> <p>○ 「とりで」を築くことによってどんなものを んでいるのか考えの共通点や相違点を 理していく。</p> <p>○ 「世界遺産」は 度であり「世界の遺産」は、世界に一つしかない世界の人々が共すという筆者の願いが められていることを確認する。</p>

		める。 (/ 13)	
		戦争は、人間の , 主義, り, , いじめ, 別などの心が み なって起こるものである。つまり戦争は、人の心の中に生まれるこのような心がもとで起こるので、「戦争は人の心の中で生まれるものである」ということができる。過去・現在・ の人々, 広島・日本・世界の人々, そして自分自身も原爆ドームを見ることによって, 戦争や の さを強く心に み, 自分の心の中に生まれる や 主義, いじめの心などを ち したり, からやってくるそのような心をは のけたりすることができる。「世界の遺産なのだ」からは筆者が原爆ドームに対して, 世界に一つしかない世界の人々が共 する, 後生まで残す価値のあるものであるという考えをもっていることがわかる。	
読 み の ま と め 本 時	8	「平和のとりでを築く」を通してつかんだ要旨をもとに「広島市 平成22年度 平和への誓い」を読み, 平和についての考えを読み比べよう。 1 筆者が「平和のとりでを築く」で伝えたかったことを振り返る。 2 「広島市 平成22年度 平和への誓い」を読む。 3 「平和のとりでを築く」と「広島市 平成22年度 平和への誓い」の平和についての考えの共通点を書く。 4 「平和のとりでを築く」と「平和の誓い」の共通点を 流す。 5 流して深まった考えを書きまとめる。	○ 今まで読み確かめてきたことを振り返り, 「平和のとりでを築く」の要旨を確認する。 ○ 「平和のとりでを築く」では, 平和への が原爆ドームであったが, 「平和へ誓い」では, 何がそれにあたるのか視点を えて読するようにする。 ○ 学習プリントに 「平和のとりでを築く」の要旨を せ, 比較しながら自分の考えを書くことができるようにする。 ○ 「過去・現在・ 」の人々や, 「広島・日本・世界, そして自分自身」に けたメー という共通点を 理していく。 ○ 自分の考えの付 正, 深化に気 かせるようにする。
書 く	10 11 12 13	筆者と自分の平和に対する考えを比べ, 自分の考えを発信しよう。 1 「平和のとりでを築く」の文章構成や表現の工夫を振り返る。 (/ 13) 2 自分の文章構成や の 当性を味する。(/ 13) 3 自分の平和に対する考えを書きまとめる。 (1 / 13) (1 1 / 13) (1 2 / 13) 4 筆者と自分の平和に対する考えを比べ, 自分の考えを発信する。 (1 3 / 13)	○ 「現在－過去－現在」という文章構成や事実と意見を書き分けている文末表現を確認する。 ○ 課題設定, 体 , まとめという意見文の構成を確認する。 ○ 自分の考えを伝えるための 体 の内容やその 列は 切か 味させる。 ○ 筆者と自分の考えの共通点に着目させていく。

6 本時の目標 (8/13)

- 「平和のとりでを築く」と「広島市 平成22年度 平和への誓い」の平和についての考えを読み比べることができる。
- 説明文の要旨をもとに、 の共通点を考える読み方を身につけることができる。

7 本時指導の考え方

これまでに、子ども は、読みのめあての答えを読み確かめるために、①「戦争は人の心の中で生まれるものであるから」と、どうしてそういえるのか ②「それを見る人の心に平和のとりでを築く」とは、どういうことなのか ③「世界の遺産なのだ。」とは、筆者の原爆ドームに対するどのような考えを表しているのか、について自分の考えをつくり 流をしてきている。

本時は、「平和のとりでを築く」を通してつかんだ要旨をもとに「広島市 平成22年度 平和への誓い」を読み、平和についての考えを読み比べ、大牟田稔さんの平和への考えを 考する時間である。

本時の導入にあたっては、前時までの学習を振り返り、筆者が「平和のとりでを築く」で伝えたかったことを振り返る。そして読み確かめてきた要旨をもとに、「広島市 平成22年度 平和への誓い」を読み、平和についての考え方の共通点を り、大牟田稔さんの平和への考えを 考する時間であることを明確にする。

本時の にあたっては、ま 「広島市 平成22年度 平和への誓い」を「平和のとりでを築く」の原爆ドームにあたる存在は何か視点を えて読んでいく。平和への が「原爆ドーム」「アリ、ウル の 」であることを確認したうえで、共通した平和についての考えを書かせるようにする。その 、二つの文章を比較しやすいように、学習プリントの上段には「平和のとりでを築く」の要旨を、下段には「広島市 平成22年度 平和への誓い」の文を せておく。また中は二つを比較し、その共通点を書くス ースとして位置 けておく。

次に、書きまとめた共通点を 流し、 ラス全体で平和についての考え方の共通点を り上 ていく。

本時の 末では、 流を通して深まった考えを書きまとめ、「平和への誓い」を読むことで、深まった大牟田さんの考えにせまらせるようにする。また、自分たちと じ、広島市の小学校6年生が「平和への誓い」をしていることについて、どのように感じ、考えたのか書かせ、これから意見文を書く学習へと意 をつな ていく。

の視点
○ 読み比べさせるための の 定とその方 は 切であったか。

8 本時の展開

学習活動と内容	指導上の留意点
1 筆者が「平和のとりでを築く」で伝えたかったことを振り返る。	○ 学習の流れ や学習プリントを振り返り、要旨を確認する。
2 本時学習のめあてを確認する。 「平和のとりでを築く」を通してつかんだ要旨をもとに「広島市 平成22年度 平和への誓い」を読み、平和についての考えを読み比べよう。(大牟田さんの考えを 考しよう。)	
3 「広島市 平成22年度 平和への誓い」を読む。	○ 「平和への誓い」の を提示し、自分たちと じ広島市の小学校6年生の言葉であることをおさえる。 ○ 「平和のとりでを築く」では、平和への が原爆ドームであったが、「平和への誓い」では、何がそれにあたるのか視点を えて 読するようにする。
4 「平和のとりでを築く」の要旨と「広島市 平成22年度 平和への誓い」の平和についての考えの共通点を書く。	

<p>(1)「平和への誓い」の中から、平和への なるものを す。</p>	<p>と</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 原爆ドームは「 の遺産」であり、人々に戦争の ， しい過去を伝え、人々の心の中にとりでを築くための存在であったことを想起させる。 ○ ア リや ウル の の を提示し、原爆ドームと じ存在か 間を投 かける。
<p>(2)「平和のとりでを築く」と「平和への誓い」の共通点を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 共通した平和についての考えを二つの文章を比べて書かせるようにする。
<p>5 「平和のとりでを築く」と「平和への誓い」の共通点を 流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分と の考えの共通点や相違点も意識させて 流する。 ○ 「 」 「 しみ」に対して「 」という言葉に着目させる。
<p>6 流して深まった考えを書きまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「平和への誓い」を読むことで、深まった大牟田さんの考えにせまらせる。 ○ 自分たちと じ、広島市の小学校6年生が「平和への誓い」をしていることについて、どのように感じ、考えたのか書かせ、これから意見文を書く学習へと意 をつな ていく。